

中高生向け図書館しごと応援事業

1 目的

中高生の図書館利用を促進するためのひとつの方法として、昨年度より「中高生向け図書館しごと応援事業」を始めた。今年度も引き続き、若者向けのビジネス支援や将来の職業を考えるための資料などを提供することにより、「若者自らが魅力を生み出す町づくり」を進めることにもつなげていく。

2 事業内容

(1) 中高生しごと応援コーナーの充実

昨年度より、新しくコーナーを作って若い世代が仕事について考えるきっかけとなるような資料を、一カ所にまとめて展示できるようにした。蔵書も増え、現在約 530 冊所蔵している。今までは職業ごとの分類に分かれていたため一目でさまざまな興味の分野の本を見つけることが難しかったり、一般のビジネスコーナーに混在していたため、中高生が利用しづらかったりなどの問題があったが、手に取りやすい環境を整備することができ、利用者に好評である。

今後も、将来を考える中高生の力になれるように資料の収集に力を入れていく。



(2) 商用データベースを PR

中央図書館では、課題解決や学習に役立つ商用データベースを、8 種類導入している。

昨年度、新規に導入した「ジャパンナレッジ LIB」は、50 種類以上の事典類からあらゆる項目の一括検索ができ、コンテンツも継続的に追加されるので新しい言葉を調べるときにも大変有用である。また新聞記事のデータベースについては、新潟日報、朝日新聞、日経新聞を導入して、利用も少しずつ伸びている。

また昨年度から、職場体験や夏休み図書館ボランティアに参加した中高生に実際に例題を解くことで、課題解決に役立つ便利さを体験してもらった。

今年も、職場体験のプログラムにデータベース体験課題を組み込み、利用の PR を図っていく。



3 今後の課題

資料、データベースともに、少しずつ利用は伸びている。中高生の来館者をさらに増やすために、引き続き利用促進の PR を続けていくことが今後の課題である。